



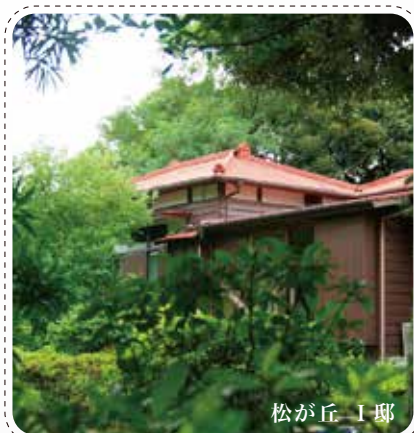
美住町 H邸

ちがさき文化景観祭 伝える、つなげる '09 茅ヶ崎の文化景観

昨年の「ちがさき文化景観祭'08 茅ヶ崎らしさの『継承』と『創造』」に引き続き、2009年は「伝える、つなげる茅ヶ崎の文化景観」をテーマに10月25日(日)にちがさき文化景観祭'09を開催しました。これは、茅ヶ崎市が実施する協働推進事業の継続事業として、茅ヶ崎の文化景観を育む会と茅ヶ崎市との共催で実施しました。午前中は茅ヶ崎の歴史ある建造物を巡るバスツアーを、午後からはシンポジウムとトークセッションを実施し、沢山の方に御参加いただきました。

◎茅ヶ崎の歴史ある建造物を巡るバスツアー

専門家とともに、茅ヶ崎の歴史ある建造物や場所をバスでまわるツアーを開催しました。当日はあいにく小雨の降る中でのツアーでしたが、市民29名の参加がありました。茅ヶ崎市美術館に集合し、バスで「松が丘I邸→美住町H邸→矢畑K邸→香川熊澤酒造」を見学し市役所に戻りました。大正から昭和初期に建てられた建造物に現在もお住まいの所有者の方から、建築当時の生活の様子などを伺い、建築専門家が建造物の特長を説明しました。歴史ある建造物に今も大切にお住まいになったり、使い続けておられる所有者の方のお話は興味深く、建築当時を思い描くことができました。



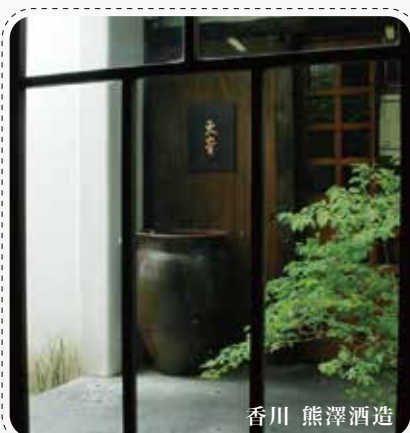
松が丘 I邸



美住町 H邸



矢畑 K邸



香川 熊澤酒造



◎シンポジウム

市役所大会議室において、市内の歴史ある建造物の所有者アンケート結果報告を皮切りにシンポジウムは始まりました。

茅ヶ崎の文化景観を育む会代表の山口洋一郎によるコーディネートのもと、6名のパネリストが各々の立場から歴史ある建造物の保全、利活用事例などの発表のあと、茅ヶ崎における問題点をディスカッションしました。

◎トークセッション

茅ヶ崎の景観に携わる活動をされている「まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎」による「懐島プロジェクトの事例発表」や午前中のバスツアーで訪問した「H邸」の保全活動における諸問題などの詳しい説明を聞きました。歴史ある建造物の所有者と参加者の交流を図りました。

◎歴史ある建造物所有者アンケート (抜粋)

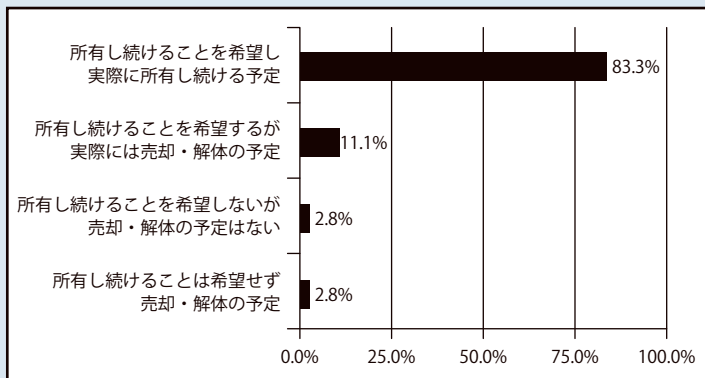
【調査主体】 茅ヶ崎の文化景観を育む会、茅ヶ崎市

【調査期間】 平成21年7月6日(月)から7月24日(金)まで

【調査目的】
市内に存在する歴史ある建造物を所有されている方がどのような状況にあり、歴史ある建造物の保全・利活用のためにはどのようなことが課題で、どのような対策が必要かを把握することを目的とする。

【調査対象】
「神奈川県近代和風建築」(2000)に記載された14件、「神奈川県近代洋風建造物目録」(1984)に記載された2件、及び現地調査により把握した58件の合計74件の所有者を対象

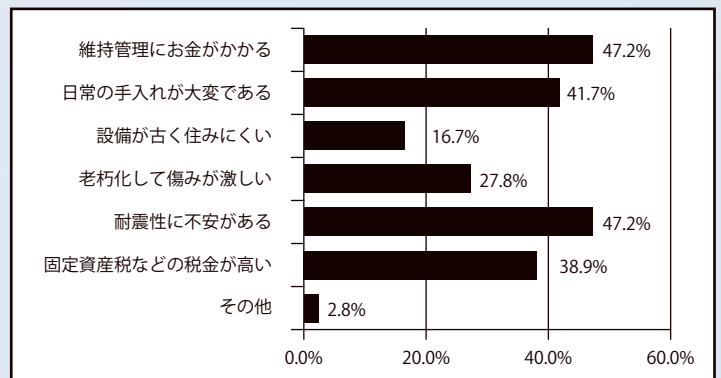
1. 建造物の所有に対する今後の意向



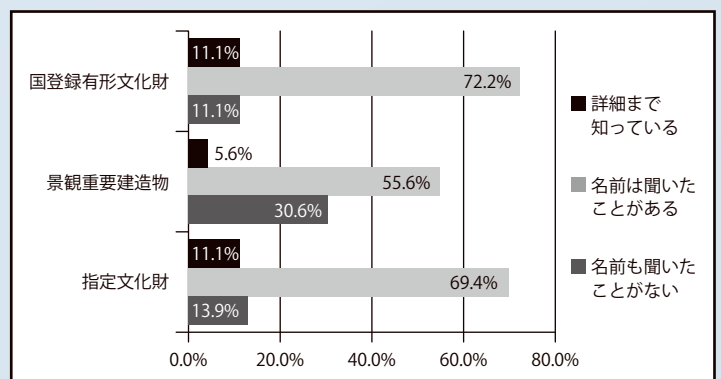
発行：茅ヶ崎の文化景観を育む会・茅ヶ崎市
連絡先：茅ヶ崎の文化景観を育む会事務局
TEL・FAX：0467-98-1630
E-MAIL：info@chi-bunkei.net

※このパンフレットは、平成21年度協働推進事業の一環として作成しました。

2. 建造物維持のための課題



3. 各種保全制度に対する所有者の認識



4. 各種保全制度に対する所有者のイメージ

